

エキゾチックなイルミネーション

県立フラワーセンターでは12月6日④から21日⑩までの土曜、日曜に「花と光のクリスマス」を開催します。中央花壇には光のトンネルを設け、サンタクロースやトナカイの飾りでクリスマス気分を演出します。また、大温室ではエキゾチックな熱帯植物や食虫植物もライトアップ。昼間とは違った幻想的な世界に出合えます。(県農産園芸課)



カラフルな世界が広がる大温室の熱帯植物室。



ウツボカズラも捕虫袋に電飾を入れてライトアップ。

花と光のクリスマス

④12月6日④～21日⑩の土曜、日曜17時～20時(入園は19時30分まで)
⑤県立フラワーセンター(加西市豊倉町飯森1282-1)
⑥一般550円、高校生以下無料(入園料)
⑦同園 ⑧0790-47-1182 ⑨0790-47-1561



詳しくはこちら

未来を探究する県立の農林水産高校

県内には、農業、林業、畜産業、水産業など1次産業について専門的に学べる県立高校が12校あり、個性豊かな学科がラインアップ。特徴的な3学科を紹介します。(本紙編集部)

⑧県教育委員会高校教育課 ⑨078-362-3898 ⑩078-362-4288

県立播磨農業高校畜産科(加西市)

家畜の飼育や農場経営を実践的に学ぶ

酪農コースでは乳牛を育て搾乳するほか、敷地内で栽培した飼料を餌に混ぜ、ふんを肥料にする循環型酪農経営なども学びます。肉畜コースでは、肉牛、豚、鶏を開放的な環境で飼育。加西市内の酒造会社の酒かすを餌にした同校発のブランド豚「ハリマ夢ポーク」の生産にも力を注いでいます。



人懐こい母豚。タイミングが合えば出産に立ち会うこともあります。



3年間で研究に必要な技術を学びます。県内の高校で電子顕微鏡を導入しているのは同校のみ。

県立農業高校生物工学科(加古川市)

バイオテクノロジーを農業に応用

電子顕微鏡や元素分析装置といった最新機器をそろえた環境で、先進農業技術やバイオテクノロジーについて学びます。生徒が品種改良した酒米とサルビアの天然酵母を使って市内の酒造会社と共同で日本酒を醸造するなど、地域に根差した取り組みも進めています。

県立香住高校海洋科学科(香美町)

身近な海や港の豊富な資源が教材

オーシャンコースでは、船員や漁師などに必要なスキルを習得。在学中約90日間の航海実習で、操船や甲板作業、漁を体験します。アクアコースは、海洋生物の飼育や管理、生態系調査を行います。シーフードコースは、水産物の調理や加工を専門とし、近海の魚介を用いた缶詰開発などにも挑戦します。



航海実習では日本海近海で漁にも挑戦。

三田市では江戸時代から、歳末の大売り出し「誓文払い」で米粉を使った「米まんじゅう」が販売されてきました。現在も市内3つの和菓子店の4店舗で歳末の3日間(今年は12月19日⑤～21日⑩)だけ店頭に並ぶ予定です。こしあん入りでピンクや緑に着色したもち米で飾られた、彩り鮮やかな一品です。(本紙編集部)

⑧西村清月堂三輪本店 ⑨079-562-0345
同キッピーモール店 ⑨079-562-2544
きねや菓舗 ⑨079-562-2233
松栄堂 ⑨079-563-7352



写真提供: (一社)三田市観光協会

米を使った 歳末限定のまんじゅう



県立香住高校の
サバの缶詰(水煮・みそ煮)
各3個セットを
5人にプレゼント
1缶(190g)150円
応募方法は7面へ

12校の詳細は
ウェブ版で。

